YAMAHA	Saltol（ソルトル） 船外機電動水洗キット 取扱説明書	適応機種 フラッシングデバイス装備機種

はじめに

◘お 客 様 へ

お買い上げ誠にありがとうございます。
本製品はフラッシングデバイスが装備された船外機を、水道設備が近くにない保管場所でも簡単に水洗することができるキットです。(12V専用仕様)
本書には商品の正しい取扱方法と注意事項について説明してあります。商品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、充分に内容を理解してください。
本書は大切に保管し、いつでも見られるようにしておいてください。

◘販売店様へ

本製品の商品説明および取り扱い上の注意点を、お客様に充分ご説明いただくようお願い申し上げます。

本書では正しい取り扱いに関する事項を下記のシンボルマークで表示しています。

⚠警 告	取扱いを誤った場合、死亡または重傷及び傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。
注 意	取扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。
要　　点	正しい取扱方法や、作業上のポイントを示してあります。

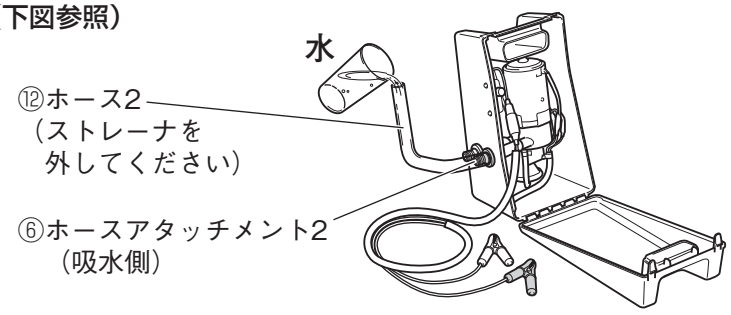
安　全　上　の　ご　注　意

⚠警 告

- ガソリンや溶剤には絶対に使用しないでください。
- 使用中及び使用直後は、キット本体のポンプ&モーター部に触れないでください。高温になっていますので、やけどをする恐れがあります。
- コードを引っ張ったり、コードに物を引っ掛けたり、力をかけたりしないでください。断線等の故障、発熱や火災の原因となります。
- コードに傷を付けないでください。また、傷付いたコードは使用しないでください。傷付いた箇所がショートし、火災の原因となります。
- 万一、配線のショートやポンプの空運転などで、発煙、発火の異常を感じた場合は、すぐにスイッチを切り、消火してください。
- ヒューズが切れた場合は、必ず指定のヒューズ（15A）と交換してください。また、ヒューズのかわりにハリガネなどは絶対に使用しないでください。指定ヒューズ以外のものを使用しますと発熱し、火災の原因となります。
- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。異常作動してけがをする恐れがあります。
- 本キットは幼児・子供が触れないよう、安全な場所で使用してください。

注 意

- 本キットで雨水、大量の浸水の排出用としては使用できません。
- 空運転は絶対にしないでください。ポンプが破損します。
- 本キットのポンプの連続運転可能時間は10分です。それ以上連続運転すると、モーターが焼損する恐れがあります。再度使用する場合は、モーターを充分に冷やしてから（停止後2時間以上）使用してください。
- 本キットのポンプは12V仕様です。それ以外の電源電圧では使用しないでください。故障の原因となります。
- 運転時、モーターの回転が重い（水を吸い上げない）場合は、一度使用を止めてください。過負荷の状態となり、ポンプ及びモーターの損傷につながります。このような場合は、吸水側のアタッチメントから少量の水をポンプ内のインペラに届くように入れてから使用してください。（下図参照）



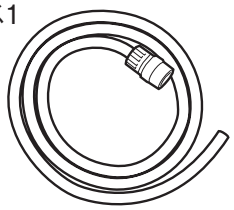
構　成　部　品

下記の部品より構成されています。
ご確認いただき、万一、輸送上等による破損、不足品があった場合は、弊社（巻末）までご連絡ください。

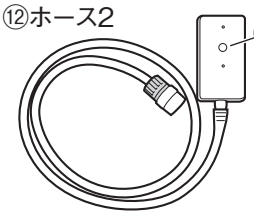
No.	品　　名	部 品 番 号	数量	備　　考
Ⓐ	キット本体		1	
①	・ケース		1	
②	・ポンプ&モーター部	Q8T-SWF-G00-001	1	12V仕様
③	・スイッチ部	Q8T-SWF-G00-003	1	12V仕様
④	・ヒューズ管	Q8T-SWF-G00-007	1	15A
⑤	・ホースアタッチメント1		1	吐出側、凸形（藤色）
⑥	・ホースアタッチメント2		1	吸水側、凸形（紺色）
⑦	・電源ケーブルホース		1	シリコン製
⑧	・電源ケーブル		各1	赤、白
⑨	・ワニ口クリップ赤		1	銅製
⑩	・ワニ口クリップ黒		1	銅製
⑪	ホース1		1	アタッチメント凹形（藤色）付き 1.5m
⑫	ホース2		1	アタッチメント凹形（紺色）、ストレーナ付き 1.5m
⑬	ストレーナ	Q8T-SWF-G00-005	1	
⑭	ホース収納用ネット袋		1	400 X 450 (mm)
	ホース	Q8T-SWF-G00-006	1	3m（1.5m × 2に切断してください）

部品番号欄が空欄のものは、補修部品の設定はありません。

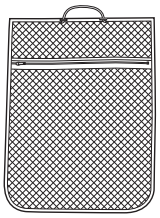
⑪ホース1



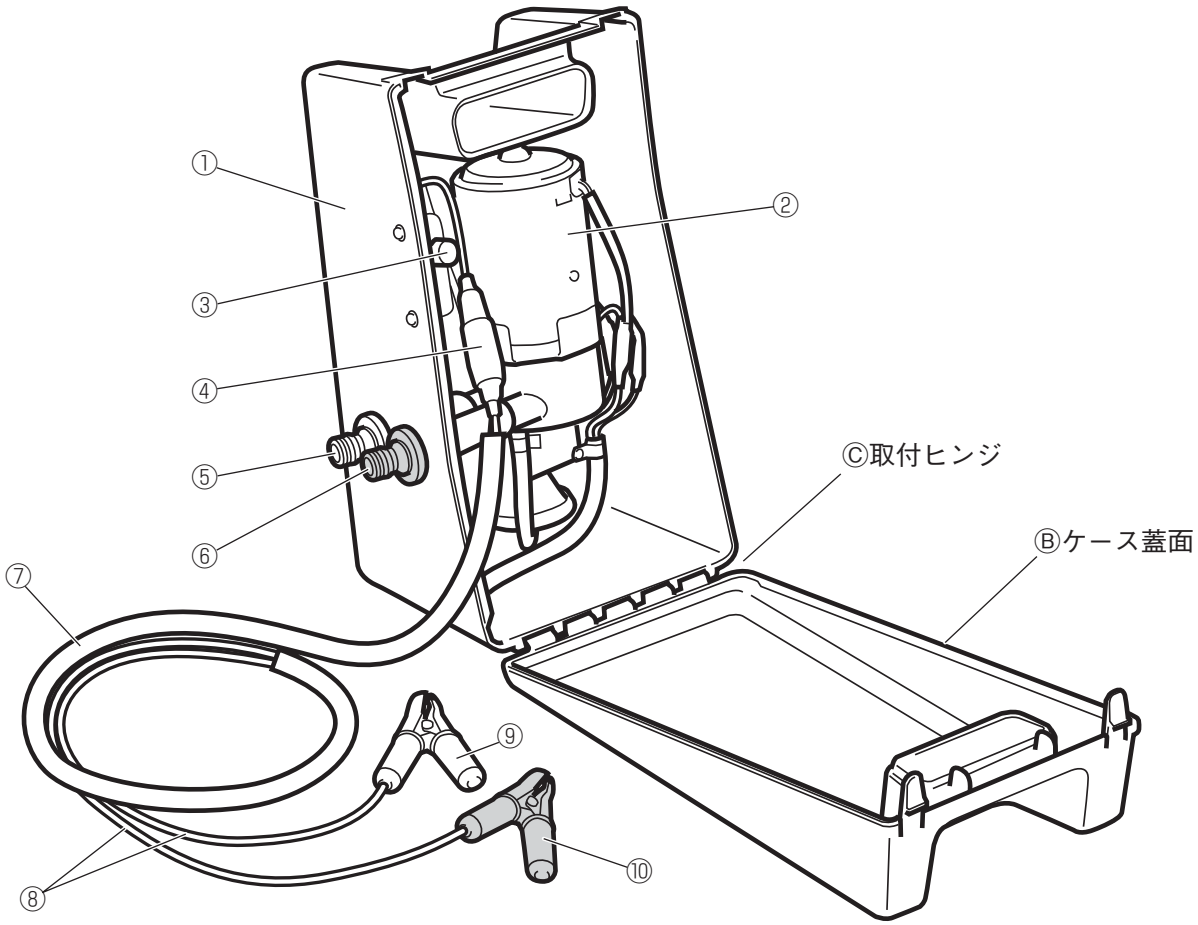
⑫ホース2　⑬ストレーナ



⑭ホース収納用ネット袋



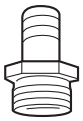
Ⓐキット本体



取　扱　方　法

使用にあたり次の物をご用意ください。
・清水20L入りポリタンク　　船外機150馬力未満　1個以上
　　船外機150馬力以上　2個以上
　※ポリタンクは広口のキャップの物（内径90mm以上）をお選びください。
・インチネジコネクター（右図Ⓓ）【69J-12584-00】1個
　ヤマハ船外機のタイプにより、船外機本体に同梱されている場合がありますので、事前にご確認ください。

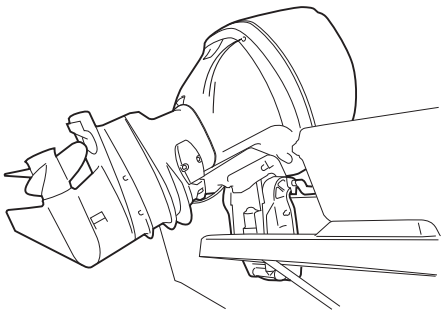
Ⓓインチネジコネクター
（プラスチック製）



注 意

使用前に船外機の取扱説明書でフラッシングデバイスによる水洗の実施手順及び設置場所を必ず確認した上で実施するようにしてください。船外機の種類によってフラッシングデバイスの設置場所が異なります。

■ 使用前のお手入れ



1. 船外機を停止させます。高速運転直後はアイドリングで充分に冷機運転を行なってから停止してください。
2. ボートのステアリングを中立位置にして、船外機をチルトアップさせます。

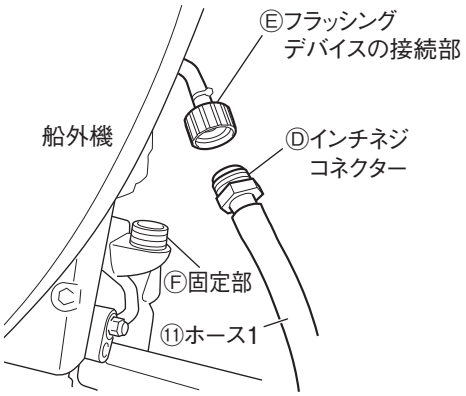
注 意

船外機を絶対に始動しないでください。船外機のインペラを損傷してしまうだけでなく、オーバーヒートの原因になります。

要　　点

船外機をチルトアップし、船外機の高低差を少なくすることで、少ない水量での水洗ができるようになります。

3. 船外機のボトムカウルのフラッシングデバイスの接続部（右図Ⓔ）を固定部（右図Ⓕ）から外します。
4. フラッシングデバイスの接続部（右図Ⓔ）にインチネジコネクター（右図Ⓓ）を使用し、ホース1（左右図⑪）を接続します。
5. ホース2（左図⑫）のストレーナ（左図⑬）をポリタンク内の底に沈めます。



注 意

ストレーナは常にきれいにしておいてください。ストレーナが詰まるとポンプが空運転となり、故障や焼損の原因となります。

要　　点

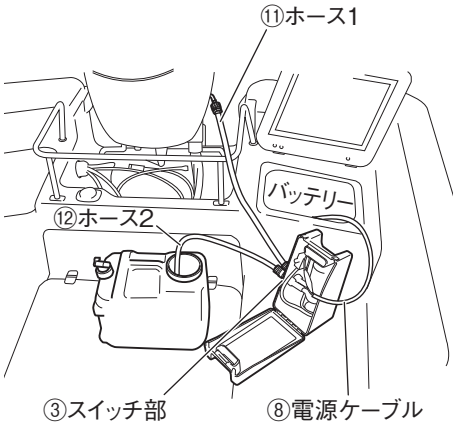
必ずストレーナを付け、ポリタンクの底面にストレーナの網目の吸水面が並行になるように調節し、設置してください。

6. キット本体（左図Ⓐ）のホースアタッチメント1（左図⑤）にホース1（左図⑪）を、ホースアタッチメント2（左図⑥）にホース2（左図⑫）を接続します。
　※アタッチメントの色（藤色、紺色）を同じに合わせてください。
　※ホースは付属の物を使用し、急な曲がりがないように調整してください。
7. キット本体（左図Ⓐ）のケース蓋面（左図Ⓑ）を上部から開け、電源ケーブル部（左右図⑦⑧）及びワニ口クリップ（左図⑨⑩）を取り出します。

注 意

ケースの蓋面（左図Ⓑ）下部の取り付けヒンジ（左図Ⓒ）は、無理にひねって外さないでください。ツメ部分を損傷する恐れがあります。

8. ボートに搭載されているバッテリー（12V）に電源ケーブル（左右図⑧）からのワニ口クリップ（左図⑨⑩）を接続してください。



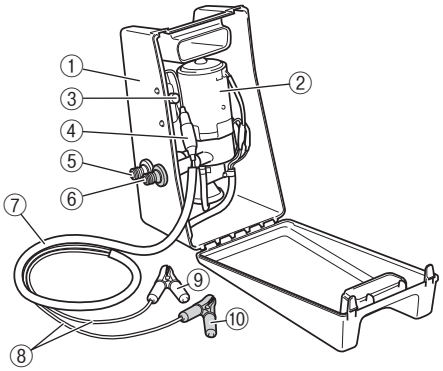
注 意

ワニ口クリップは、先に赤クリップ（左図⑨）をプラス端子⊕に接続し、次に黒クリップ（左図⑩）をマイナス端子⊖に間違えないように確実に接続してください。また、濡れた手では行なわないでください。感電やけがをする恐れがあります。

要　　点

バッテリーは、12V仕様で液比重1.22以上の充分に充電されている状態のものを使用してください。

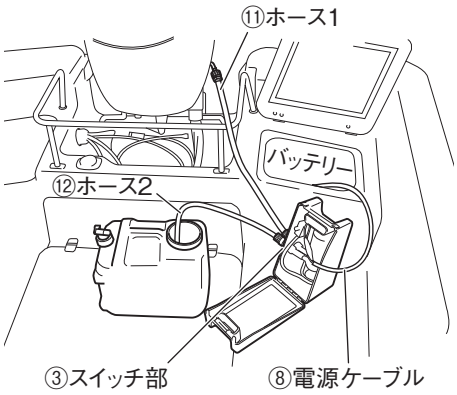
■ 水洗開始



注 意

使用するときは、ケース（右図①）を立て、またケース内のポンプ&モーター部（右図②）、スイッチ部（右図③）等に直接水がかからないようにしてください。故障の原因となります。

1. 本体ケースにあるスイッチ部（右図③）を押し、水洗を開始してください。
（水を吐出している間は、ポンプ&モーター部（右図②）は回り続けます。ただし、高低差や流路経路の抵抗で水の流量が少ない場合は、スイッチ部（右図③）を放すと停止するので、その場合にはスイッチ部（右図③）を押し続けてください。）
約3分程度で20Lタンクの水がなくなり、水洗が完了します。
2. 40Lで水洗する場合は、一旦20Lタンクより吸水ホースを取り出し、次のポリタンクの底にストレーナ（2頁図⑬）を沈めてから再度スイッチ部（右図③）を押し、水洗してください。約3分程度で次の20Lタンクの水がなくなり、水洗が完了します。



注 意

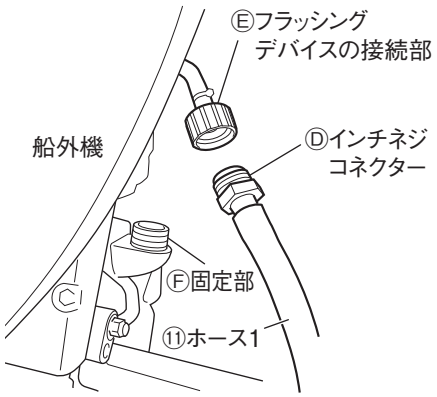
本キットのポンプの連続運転可能時間は10分です。それ以上連続運転すると、モーターが焼損する恐れがあります。再度使用する場合は、モーターを充分に冷やしてから（停止後2時間以上）使用してください。

要　点

途中で水の吐出を停止したい場合は、バッテリーよりワニ口クリップ黒（右図⑩）を外すか、ホース2（2頁図⑫）のストレーナ（2頁図⑬）を20Lタンクより取り出してください。

■ あと片付け

1. 所定の水量を使い切った後、スイッチを停止させてバッテリーからワニ口クリップを外します。



⚠ 警 告

ワニ口クリップは、先に黒クリップ（右図⑩）をマイナス端子⊖から外し、次に赤クリップ（右図⑨）をプラス端子⊕から外してください。
また、濡れた手では行なわないでください。感電やけがをする恐れがあります。

2. ホース1（右図⑪）のインチネジコネクター（右図Ⓓ）をフラッシングデバイスの接続部（右図Ⓔ）から外します。
3. フラッシングデバイスの接続部（右図Ⓔ）を船外機のボトムカウルの固定部（右図Ⓕ）に確実に取り付けます。

注 意

フラッシングデバイスの取り付けが不充分ですと、船外機の通常運転時に冷却水が漏れてオーバーヒートの原因となります。

4. キット本体からホース1（右図⑪）及びホース2（右図⑫）を外し、ホースの中の水分を充分に除去し、付属のホース収納用ネット袋（2頁図⑭）に入れて保管してください。

注 意

直射日光の当たらない場所に保管してください。ホースの劣化の原因になります。

5. キット本体の水分を充分に除去し、電源ケーブル部（右図⑦⑧）及びワニ口クリップ（右図⑨⑩）をケース内に収納してください。

注 意

直接水のかからない場所に保管してください。錆付きの原因になります。

■ 使用後のお手入れ

1. 定期的にホースアタッチメント部（右図⑤⑥）、ポンプ&モーター部（右図②）及びスイッチ部（右図③）の取り付けネジを確認して、必要に応じて増し締めをしてください。

⚠ 警 告

キット本体をお手入れするときは、電源との接続を必ず外して行なってください。また、漏れた手では行なわないでください。感電やけがをする恐れがあります。

2. ホースやポンプ内の水が凍結する恐れがある場合には、ホースやポンプ内の水を充分に排出させておいてください。もし凍結した場合は使用しないでください。

●商品に関するお問い合わせ
株式会社ワイズギア
0570-050814（ゴーワイズ）
オープン時間　月曜～金曜（祝日、弊社所定の休日を除く）
9:00～12:00 13:00～17:30
◎一般の固定電話の場合、全国一律市内通話料でご利用いただけます。
◎IP電話や電話機の設定によってはご利用いただけません。
〒432-8058　静岡県浜松市南区新橋町1103番地　FAX.053-443-2187